

沼津兵学校の歴史を生かしたまちづくり事業

『沼津兵学校記念誌』の刊行

事業主体：沼津兵学校創立 150 周年記念事業実行委員会

事務局：沼津郷土史研究談話会（略称・沼津史談会）



平成 31 年 1 月 20 日、**沼津兵学校創立 150 周年記念式典**を開催したところ、全国各地から**兵学校関係者子孫**や**兵学校設置者の徳川家関係者**などが**100 名**以上、地元からは**自治会関係者**を始めとする**市民**や県内外からの**歴史愛好家**や**研究者**など、526 名収容の会場が満員となる皆様が参加され、**記念事業の意義**が多くの人たちに理解された。

そして式典終了後は、約 200 名が新たに市内西条町に誕生した、**地域医療の歴史的オブジェ「沼津病院・駿東病院跡」記念碑**の除幕式に立ち会い、さらに関連史跡等の見学会に参加された。

式典受付では『**沼津兵学校記念誌**』を来賓等に記念品として配布したほか、一般参加者に対しては、一冊 1,000 円で約 300 冊を頒布した。その後も希望者への頒布を続ける一方、**沼津市立図書館自主事業**として市内全ての**地区センター図書室**や**市立小・中・高等学校**、**同看護専門学校**の**図書室**に記念誌を配置していただいた。

さらに**徳川記念財団**の**会報**（令和元年 6 月末発行）に、本委員会作成の「**事業概要パンフレット**」（下段左に一部を掲載）及び「**記念誌頒布の案内書**」を同封する形で**1,000 部**を郵送していただき、**国内外の同財団関係機関、団体・個人会員等への周知**を図り、**歴史を生かした沼津のまちづくり**につながるよう、**今後の事業展開**を図っている。

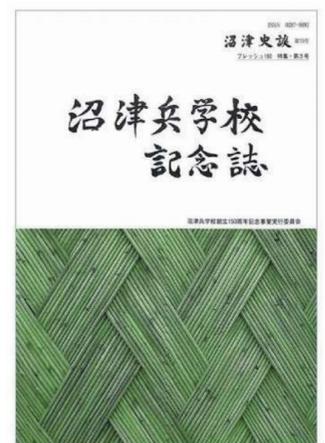
左は記念誌の中に掲載した漫画家・**すずき孔**さん作「**沼津兵学校物語**」の冒頭及び末尾の各 2 ページであり、沼津兵学校ゆかりの沼津病院頭取・**杉田玄端**と 6 男**六蔵**親子を主人公とする傑作で、子供も大人も**理解し易い**と好評である。

『沼津兵学校記念誌』

—主な内容と表紙のデザイン

- 沼津兵学校創立 150 周年に寄せて 徳川恒孝（宗家当主）
- 沼津兵学校とは何か 樋口雄彦（国立歴博教授）
- 杉田玄端をめぐる「よもやま話」 鈴木清作（杉田家子孫）
- まんが「**沼津兵学校物語**」 すずき孔（漫画家）
- 廃藩置県までの沼津病院とその時代 神山明久（東洋医学大家）
- 沼津まちなか歴史 MAP** 調査・研究チーム
- まちづくりの提案** 同上

◀ 記念誌の表紙は、徳川宗家十八代当主・徳川恒孝氏揮毫による題字及び浜の潮風を防ぐ伝統の沼津垣のデザインとした。



沼津兵学校創立一五〇周年記念事業（フレッシュ150）の概要

沼津兵学校創立150周年記念事業実行委員会（事務局・沼津史談会）
〒410-0048 沼津市新宿町19-4 天野出版工房内
Tel. Fax.055-921-1412
平成31年(2019)4月20日発行

◆記念事業の柱とその実施状況

沼津兵学校の後身・沼津沼津中学校に学び、大正九年（一九二〇）に日本ロータリークラブを創設した東山海吉兵学校を大改組して沼津兵学校と改称した。平成二十八年（二〇一〇）六月十二日、沼津兵学校創立一〇〇周年記念事業実行委員会の設立に当たり、記念事業の柱を次の三事業とした。ここでは、事業結果の概況について実施状況をまとめた。

- 沼津病院・駿東病院跡の建立 記念碑の設置場所は、病院の立地場所である市内西条町の横道歩道上とした。記念碑の意匠は、沼津病院初代頭取の杉田玄端六男・六蔵氏の遺像を基に、兵学校関係者の肖像が参加され、關心の高さがうかがわれた。一月、自治会関係者を始めとする市民や県内外からの参加者も多く、記念講演や記念誌、映像などを多く、明治日本を基礎づくりに貢献した兵学校の歴史を学ぶ絶好の機会となった。
- 沼津兵学校記念誌の発行 沼津兵学校の歴史をまとめた。各編

記念式典は満員の盛況！！



記念式典は、沼津市民文化センター小ホール（定員526人）を会場として開催された。会場正面には、市内在住の書家で、東洋書院副会長・西川万里氏揮毫の横断幕（会場写真の上に別掲）が掲示され、厳かな雰囲気の中で（公財）徳川記念財団理事長・徳川家広氏、及び国立歴史民俗博物館教授・樋口雄彦氏による記念講演が行われた。

沼津病院・駿東病院跡 記念碑
式典終了後、関係者は市内西条町の沼津病院・駿東病院跡地に移動し、多くの人が立ち合う中で、記念碑の除幕式を行った。杉田玄端が廃藩置県の苦境を乗り越えた10年後、江原素六が経営の危機にあった同病院を駿東郡の公營としたこと、昭和20年まで76年間この地の基幹病院として使命を果たした。この日は、杉田家の子孫、鈴木富子さん、同清作・和子夫妻が参加された。

沼津兵学校 沼津病院遺蹟
杉田六蔵書



徳川記念財団理事長・徳川恒孝氏揮毫の墨書目録が家広理事長から服飾部美子沼津市教育長に贈呈された。



樋口雄彦氏 国立歴史民俗博物館教授



徳川家広氏 徳川記念財団理事長



写真の左から大場公憲、四方一彦、頼重秀一、徳川家広、鈴木富子、西方俊、加藤修一、大石千鶴子の各氏



右側の女性たちが見ているのが記念碑東面の説明盤



記念碑東面の説明盤(縦50cm、横30cm)